




2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 山口県 】

学校名【 岩国市立修成小学校 】

1 実践テーマ	I・V
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：岩国市立修成小学校全校児童（17名） 岩国市周北小学校全校児童（7名） 保護者4名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（オリパラ教室） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピック教育を推進し、運動・スポーツへの関心を高め、運動習慣の定着・改善を図るとともに、著名なスポーツ選手による講演やデモンストレーションから、自らの生き方について考えることができるようにする。
5 取組内容	<p><事前学習> 「オリパラを知ろうウィーク」 オリパラ教室開催日の前の1週間、全校児童が集まる給食の時間に、ランチルームで「オリパラを知ろうウィーク」を実施した。</p> <p>1日目：オリンピック・パラリンピックの意義等 2日目：オリンピックの歴史と古代オリンピック 3日目：オリンピックの種目紹介 4日目：パラリンピックの種目紹介 5日目：オリンピックの大会ビジョンと講師・フェンシングの紹介</p> <p>※ 教頭が、作成したパワーポイントのスライドを使って給食を食べ終えた児童に話をした。 ※ 使用したスライドの例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>なんでしょう？</p>  <p>TOKYO 2020</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>オリンピックシンボル</p>  <p>五つの輪 → 五つの大陸の団結 世界中から選手が集うこと</p> <p>「世界は一つ」という意味</p>  </div> </div>

※ 「オリパラを知らうウィーク」の様子



「読書活動推進員との連携」

オリンピック・パラリンピックに関連する図書を集めて、図書室に「オリパラ図書コーナー」を設置し、興味・関心をもった児童がすぐに関連する本を手にとって読むことができるようにした。



<事業実施日>

「オリパラ教室」

講師 JOCアスリート委員 千田 健太 氏

2012年ロンドンオリンピック男子フルーレ団体銀メダリスト

講演会 自身のフェンシング競技歴、体格等のハンディの克服、強くなるために必要なことなどに触れていただいた後、目標設定の重要性、一人だけでは成功しないこと、失敗の経験は必ず次につながることの3つを軸にお話しいただいた。オリンピックのメダルも手に取って見せていただいた。

運動教室 フェンシングの基本姿勢や足の運び方などを教えていただいた。

近隣校との合同開催

新体力テストや持久走大会なども合同で実施するなど日常的に交流のある岩国市立周北小学校と合同で開催したことで、周北小学校児童のオリンピックやフェンシングに対する興味・関心を高めることができた。

<事後学習>

「道徳科との関連付け」

オリパラ教室実施後、「個性の伸長」「希望と勇気、努力と強い意志」「感謝」「友情、信頼」「国際理解、国際親善」の価値項目の教材を用いて、オリパラ教室で学んだことと関連付けた指導を行った。

6 主な成果

- 「オリパラを知らうウィーク」期間中に、図書室に設置したオリンピック・パラリンピック関連図書コーナーから本を手に取り、読んでいる様子があり、スポーツへの関心が高まったことが感じられた。「オリパラを知らうウィーク」の設定は10月最終週だったが、12月になっても、その様子が見られ、意識が持続していることがうかがえた。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持久走大会に向けて体育の時間にコースと同じ距離を走り、タイムを計っていくときに千田氏の話をしたことで、タイムを縮めようとする意欲を高めた児童が多く見られた。 ○ 高学年児童を対象として本事業前後での自分の中の変化を自由記述式で問うアンケートを行うと、以下のような結果が見られた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピックを見てみようと思った。(6人/9人) ・ フェンシングに興味をもった。見てみようと思った。(6人/9人) ・ オリンピックの歴史や競技のことが分かった。もっと知りたいと思った。(5人/9人)
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩国市立周北小学校との合同開催としたことで、より多くの児童のスポーツや運動に対する興味・関心が高まったこと。 ○ 全校児童のオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を一様に高めることができるよう、事前学習を全校一斉に行ったところ。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 極小規模校のため、運動やスポーツのロールモデルとなり得る児童の絶対数が少なく、より高みを目指そうとする気持ちを育てることが難しい。 ○ 極小規模校のため、児童が興味をもったスポーツ(特に集団でのゲームなど)を体育科の学習で十分に楽しむことが難しい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催される前に「オリパラを知ろうウィーク」を実施し、児童のオリンピック・パラリンピックに関する興味・関心を高め、テレビ等で競技を観戦することで、スポーツや運動に対する興味・関心を高めることができるようにする。